

抗がん薬の副作用に対する支持療法の開発と個別化に関する臨床研究



薬学科(臨床薬剤学分野)

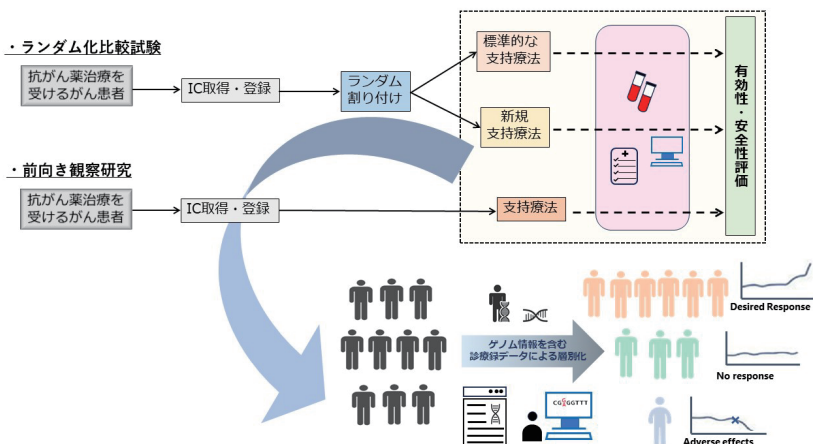
つじ だい き
辻 大樹

- 連絡先 TEL: 054-264-5761
E-Mail: d-tsuji@u-shizuoka-ken.ac.jp
- ホームページ <https://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/clinphar/>

キーワード 支持療法、臨床試験、多機関共同研究、ファーマコゲノミクス、ゲノムバイオマーカー、悪心・嘔吐、好中球数減少、末梢神経障害



抗がん薬は一般薬と異なり治療域が狭いため、がん患者は治療中に様々な薬物有害反応（副作用）を経験します。支持療法とは治療継続の障壁となる副作用を予防したり症状を軽減したりすることを目的として、抗がん薬治療を行う患者を支える治療です。新規抗がん薬の開発に伴って副作用は多様化しており、支持療法においても質の高いエビデンスの創出が求められています。我々は多機関共同の臨床試験を通じてより有効で安全性の高い支持療法を検討しています。しかし、エビデンスに基づく標準的な支持療法を実施しても、必ずしもすべての患者で期待される効果が得られるわけではなく、支持療法薬への応答性は患者ごとに異なります。臨床試験を実施するなかで、採血から得られるゲノム情報や収集した臨床データを解析し、個別化された支持療法の実践を目指した研究を行っています。



アピールポイント

がん患者さんが安心して抗がん薬治療を受けることができるよう薬剤師間のネットワークで質の高い臨床研究を行っています。